

家庭学習の手引き

大阪市立九条東小学校

小学校の学習は、子どもたちが将来社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校で学んだことを定着させるためには、反復学習が必要です。学校と家庭が連携することで、学習内容がより確かに定着し、学力が伸びていきます。この「学習の手引き」をお子さんと一緒にご覧いただき、家庭学習の手助けとしてご活用いただくことを願っています。

★家庭学習がなぜ必要なのでしょう。

家庭学習によって、次のような教育効果が期待できます。

①学習内容の定着

学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算などは、毎日繰り返すことで定着していきます。宿題を必ずやり、時間があったら自主学習を行うことで、学校で「わかった」ことが、家庭での反復によって「できる」という自信に変わります。

②脳の活性化

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながると言われています。鍛えれば鍛えるほど発達し、たくましくなって、脳がいろいろなことにうまく使えるようになります。小学校のうちからどんどん鍛えていきましょう。

③学ぶ習慣をつける

毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身に付きます。少しずつでも継続することが大きな力につながります。低学年のうちから毎日欠かさず家庭学習をすることが大切です。

★家族の関わり方

- ・連絡帳や手紙の確認をする。
- ・宿題を必ずさせる。
- ・時間割通り、準備物をそろえさせる。
- ・筆記用具（鉛筆5本、赤鉛筆1本、消しゴムなど）をそろえさせる。
- ・早寝早起きをさせ、朝ごはんをしっかり食べさせる。
※ 始めは一緒に準備をしましょう。学年が上がるにつれ、自分でできるように声をかけていきましょう。
- ・親子で読書を楽しみましょう。
- ・親子で学校での出来事について話をしましょう。
- ・新聞やテレビなどのニュースをもとに会話しましょう。

★家庭学習のポイント

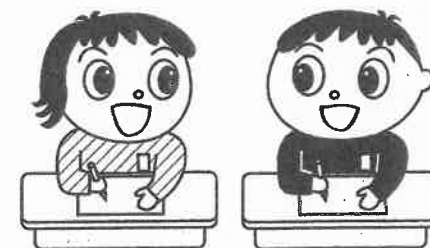
① 集中して学習する

学力を伸ばすためには、集中して学習に取り組むことが大切です。短時間で集中して勉強することが長続きのコツです。低学年は30分を目安に、中学年以上は「学年×10分」を目安にして集中して頑張ることを心がけてください。



② 整頓された場所で、よい姿勢で学習する

整頓された机に向かって、よい姿勢で学習するようにしましょう。テレビを見ながら、おやつを食べながらの「ながら勉強」は効果があがりません。また、マンガやゲームなど、気の散るものが近くにあると学習に集中できません。落ち着いて学習できる環境づくりに心がけたいものです。



③ 子どものがんばりを認め、ほめて励ます

子どもの頑張りを認め、ほめたり励ましたりすることにより自信がつき、進んで学習しようという意欲が高まります。できないことを叱るより、できるようになったことを認め、ほめてあげてください。子どもは、さらにやる気になります。



④ 学力アップは規則正しい生活から

「早寝・早起き・朝ごはん」は、生活リズムの原則です。生活リズムを整えることが学力向上につながります。学校でも家庭でも、いきいきと学習に取り組めるように規則正しい生活をおくりましょう。



★ 家庭学習の方法

- ①担任が出す宿題を最初に取り組みせましょう。
- ②さらに、下記の各学年の学習内容を参考にして、自主的な学習に取り組みせましょう。
- ③勉強に飽きてしまったときには、読書やお絵かきなどで、必ず机に向かわせるようにしましょう。「机に向かう」という習慣が大切です。

1年生では こんなことができるようにしよう

- 教科書の文章を正しく、はっきりと読める。
- 鉛筆を正しく持って、字をかける。
- ひらがな、カタカナの読み書きができる。
- 「は」「を」「へ」を正しく使って文を書ける。
- 順序よく話したり、書いたりできる。
- 10の合成・分解ができる。
- たし算・ひき算ができる。
- 習った漢字を読んだり書いたりできる。

2年生では こんなことができるようにしよう

- 教科書の文章を「、」や「。」に気をつけて、正しく、すらすら読める。
- できごとを順序よく話したり、書いたりできる。
- カタカナを適切に使い分けて文章が書ける。
- 習った漢字を正しく読んだり書いたりできる。
- たし算・ひき算が正しくできる。
- 九九がすらすら言える。
- 時計（アナログ）を見て時刻が読める。また、時刻と時間の違い、午前と午後の区別ができる。
- 筆算の位をそろえて正しく計算できる。
- 決められた長さの直線を定規を使って正確にひける。

3年生では こんなことができるようにしよう

- 音読を毎日続ける。はっきりした声で正しくすらすら読める。（気持ちをこめて）
- 習った漢字を正しく読んだり書いたりできる。
- 主語と述語が分かって文を書くことができる。
- 国語辞典を使って言葉の意味を調べられる。
- ローマ字の読み書きができる。
- わり算ができる。
- コンパスを使って円が正しくかける。
- リコーダーで習った曲を練習する。
- 地図の見方と地図記号がわかる。

4年生では こんなことができるようにしよう

- 音読を毎日続ける。様子や気持ちを考えながら読める。
- 習った漢字を正しく読んだり書いたりできる。
- 国語辞典、漢字辞典を正しく使える。
- 言葉のつながりを考えて文章を書くことができる。
- わり算の筆算ができる。
- 小数のたし算・ひき算ができる。
- 分母が同じ分数のたし算・ひき算ができる。
- 分度器を使って、角の大きさを正しく測ることができる。
- 47都道府県の名前と位置が分かる。

5年生では こんなことができるようにしよう

- 音読を毎日続ける。内容をおさえながら読む。
- 習った漢字を正しく読んだり書いたりできる。
- 国語辞典、漢字辞典を正しく使える。
- 章の組み立てを考えて書ける。
- 調べたことを文章にまとめることができる。
- 小数のかけ算・わり算ができる。
- 分母の異なる分数のたし算・ひき算ができる。
- 47都道府県の名前と位置が分かる。
- 地図帳を使って、知らない場所や地名を調べられる。
- 日本のつながりの深い国の名前と位置が分かる。
- いろいろなジャンルの本を読む。

6年生では こんなことができるようにしよう

- 音読を毎日続ける。様子や気持ちを考えながら読める。
- 習った漢字を正しく読んだり書いたりできる。
- 章の組み立てを考え、自分の考えを相手によくわかるように書くことができる。
- 調べたことを文章にまとめることができる。
- 古文を読むことができる。
- 帯分数のたし算・ひき算ができる。
- 分数のかけ算・わり算ができる。
- 比・速さ・円の面積などの基本的な問題が解ける。
- 比例や反比例の関係を式に表し、グラフが書ける。
- 歴史上の人物や出来事について説明することができる。
- 理科の実験から、わかったことを理由をつけて説明することができる。
- いろいろなジャンルの本を読む。